

「すっきりアフリック」

JICAセネガル事務所メールマガジン 第102号

2015年2月6日配信

目次

◆巻頭言

「継続は力なり～セネガル協力隊35周年～」

- ・セネガル事務所次長 岩本園子

◆活動紹介

「セネガル小中学校のアクセス改善のために」

- ・所員 苗村真喜子

◆われらが協力隊！

「村を巡る水の裏側～蛇口から水を飲むのも楽じゃない～」

- ・25年度2次隊 コミュニティ開発 相澤幸裕

◆人紹介

「日本人以上に日本人っぽいセネガルの仕事人集団！」

- ・(株)アースアンドヒューマン コーポレーション 深井善雄

◆ひといき

「セネガル洋服作り」

- ・所員 中谷美文

◆事務所より

- ・研修・調査団
- ・行事
- ・人の動き 等

◆『巻頭言』 「継続は力なり～セネガル協力隊35周年～」

セネガル事務所次長 岩本 園子

2015年があけて早くも一ヶ月がたちました。

2015年は青年海外協力隊事業開始から50周年の記念すべき年です。京都で老舗と呼ばれるには100年の実績が必要だそうで、まだその域には至っていませんが、半世紀というのは、やはり重みのある年数だと思います。

西アフリカで2番目に派遣が開始されたセネガルでも、協力隊事業35周年を今年迎えます。昨年は派遣人数延べ1000人を達成し、空港で盛大にWELCOMEイベントを開催しました。読者のみなさまの中にも参加して下さった方がいらっしやると思います。その節はご協力ありがとうございました。

協力隊事業では、今年一年間は「35周年と50周年」をキーワードに様々な広報をしていく予定ですが、まずは、2月10日の記念式典と、日本・セネガル友好のボランティアイベントから始まります。

横断幕やポスターを市内の各所に貼り出し、ラジオやテレビ、新聞などを通じて告知していますので、既にご存知の方も多いと思いますが、Sea Plazaに隣接するPlace de Souvenirで、2月10日、午前は26年度3次隊の壮行および35周年記念式典、15時～19時には活動を紹介するボランティアとパートナーによる手作り感満載のイベントが行われます。是非足をお運びいただければと思います。

セネガルの青年海外協力隊は、水産物加工、看護師、野菜の3名の隊員から始まりました。これまでの35年間、セネガルで、様々な分野で、大なり小なりいろいろな軌跡を残しています。

よく知られているところでは、既にあちらこちらで紹介されている水産分野の牡蠣養殖。セネガル在住の方はアルマジ岬の屋台で一度くらいはおそるおそる生牡蠣を召し上がったことがあるのではと思いますが、元々は隊員が南部湿地帯の牡蠣養殖に目をつけ、生産を支援し、ダカールの屋台での販売を始めたことでその後の大成功につながりました。

初等教育における情操教育(音楽、美術、体育)の分野では、隊員がパートナーと作成した情操教育指導書がセネガル政府の正式な教本として認定され、使用されています。

成果だけ聞いてもなかなかイメージしにくいと思いますが、どれも10年、20年といった継続的な活動、支援の賜物です。現場で異なる常識、文化を受け入れ、相手にも異なる常識や文化を受け入れてもらう草の根レベルの地道な試み、何代にも渡る3歩進んで2歩下がるような遅々とした進捗につきあう根気、セネガルで35年間、ボランティア側、パートナー側双方が粘り強く継続してきたことで、信頼関係や、相互理解を醸成し、アフリカと日本の距離を縮め、素晴らしい成果につなげていくことができたことと思います。

時は金なりで、世の中は短期的に、数字で、目に見える形でと成果を急ぐ傾向にあります。持続的な開発には持久力も必要ではないでしょうか。じっくり時間をかけないとできないこと、かけたからこそできることにもしっかり目を向けて今後の協力隊事業を展開していきたいと考えています。

◆活動紹介 「セネガル小中学校のアクセス改善のために」

ミレニアム開発目標(MDGs)は、目標最終年2015年を迎えました。教育セクターでは、MDGs目標2: 普遍的教育の達成「2015年までに、全ての子どもが男女の区別なく初等教育の全過程を修了できるようにする」が掲げられています。セネガルでは、セネガル政府の努力、ドナー等の支援により、2000年に67.2%であった初等教育総就学率は、2013年には93.0%と改善され、「初等教育へのアクセス」は飛躍的に向上しています。「初等教育へのアクセス」向上に貢献している学校建設支援を紹介します。

所員 苗村 真喜子

日本は、1991年からセネガルの小学校教室建設支援をはじめ、これまで小中学校572校、2,516教室の学校建設を行ってきました。日本の建設する学校は、その品質が高く評価され、セネガル政府の期待が高い支援の一つでもあります。建物の耐久年数の長さや、子どもたちなどユーザーの使い勝手を考慮された設計など、日本の協力の「質」が評価されています。約20年前に日本の協力で建設された教室も、頑強に子どもたちの学びを支えています。

2006年からは、「コミュニティ開発支援無償」による学校建設が開始されました。このスキームでは、コミュニティの総合的能力開発を目的に、現地業者による施工により学校建設を行うことが特徴です。現地業者による施工で、日本の品質、安全基準、納期をクリアするには、様々な苦勞が伴うことは想像に難くないかと思います。

また、現地施工業者の技術面での課題だけでなく、施工のための資材を他州から搬入する手続きや業者との交渉、雨季の作業、作業工程監理など、同スキームでの事業が始まって約10年になる現在も問題は山積みです。

しかし、日本の協力である限り、またセネガル政府から信頼を得て



ダカール州の中学校。現地施工業者により建設された。

いる「質」に妥協はできません。日本の常駐監理者による日常的な監理により技術面の指導を行い、年々の改善を目指しています。

2013年には、セネガルの教育セクター開発計画「教育の質・公平性・透明性改善計画(PAQUET)」が策定され、その目標の一つに10年間の基礎教育(初等・前期中等教育)の普遍化が掲げられています。近年では、前期中等教育の総就学率も年々向上しており、中学校建設ニーズが高まっています。JICAも中学校教室建設の協力をカオラック州にて行っています。また、新たな支援として、カオラック州・ティエス州・ファティック州にて中学校教室建設を協力予定です。

セネガルの基礎教育向上のため、子どもたちの学びの環境向上のため、セネガル教育省の取り組みをサポートします。



新築された教室で学ぶ子どもたち。教室内は明るい。



常駐監理者(株)毛利建築設計事務所 星山氏よりモックアップにかかる研修を受けるセネガル技術者たち。

◆われらが協力隊！ 「村を巡る水の裏側～蛇口から水を飲むのも楽じゃない～」

TICAD IVで表明されたアフリカ支援構想の一つで、村落給水・水道管理のボランティアや技術者をアフリカに派遣し、安定した水の供給を目指す「水の防衛隊」。セネガルにも現在6名のメンバーがいます。彼らの活動とは？

25年度2次隊 相澤 幸裕 (職種:コミュニティ開発、任地:タンバクンダ市)

コミュニティ開発(旧村落開発)の中でも水分野に特化している水の防衛隊。我々がセネガルではどのような組織に属し、どのような活動をしているのか…。一部ではありますが、この場をお借りして少しでも説明させていただきます。

<p>地方水利局 (DR)</p> <p>25年度の隊次までが配属されているダカールを本局 (DEM) とする組織の地方支局。維持管理センター (SM) や維持管理局 (BPF) 等の組織の統括機関であり、主にプロジェクト案件に関する仕事をしている。統括組織というだけあり、様々なデータを持っているが、村落部の直接的な管理とは多少距離感があるため、活動を共にする機関というよりも、情報提供や事務的なかわりにとどまっているといった感じである。</p> 	<p>維持管理センター (SM)</p> <p>複数の州にまたがり給水設備の維持管理・メンテナンスをする機関。局長一人という構成だが、現場作業よりも事務作業が多く、報告書等の作成を夜遅くまで行っていることが多い。たまに給水設備のリハビリテーションも行っているのので、井戸孔内のカメラ映像や井戸の試験等も見られることがある。 ※写真は、ソーラーを動力にしたポンプ設置の様子。</p> 
<p>維持管理局 (BPF)</p> <p>私のカウンターパートが所属している機関。活動は主にこの局長と技術者と共に行っている。給水設備の管理組合と直接やり取りをして、機材の修理や使用方法を教えるなどの仕事をしており、人脈を広げたり活動のヒントをもらったりと、最も関わりの深いところであるが、修理がなければ一日の大半がお茶と雑談で終わっていく。 ※写真は井戸内に転落したパイプの回収作業の補助をした時のもの。</p> 	<p>水利用者管理組合 (ASUFOR)</p> <p>基本的に各給水設備に存在する管理組織 (それ以外には運営委員会という組織が存在する)。我々、水利局配属の隊員は主にこの組織の運営や設備管理等を向上させるために存在している。そのため、各所に散らばる給水設備を訪問して、運営状況や改善策等の提案を行っている。組織メンバーは、毎日の機械の運転や水の利用料金の回収がメインの仕事である。 ※写真は施設管理者に問題点を聞いている時のもの。</p> 

一見すると非常にメカニクな配属先で活動も土方作業が中心の様に感じられますが、実際には定期的な報告を促すことやメンテナンスの定常化などのソフト面の問題が多く存在しています。まだこの問題をどう解決していけるか、考えがまとまってはいませんが、増えつつあるセネガルの水の防衛隊で協力して、水利用者管理組合の自律的な運営をサポートしていければと思います。

◆人紹介 「日本人以上に日本人っぽいセネガルの仕事人集団！」

本メールマガジンの人紹介のコーナーでは、今まで JICA セネガル事務所のスタッフを紹介することが多かったのですが、今後はプロジェクト等で活躍する方々も紹介していくことになりました。まず第一弾として、セネガル政府が目指す、環境と経済を両立させた持続的な村落開発を目的としたエコビレッジ計画の推進を支えるプロジェクトで活躍するセネガル人スタッフの紹介です。

「環境と経済が調和した村落開発推進計画(エコビレッジ推進計画)」チーフアドバイザー
(株)アースアンドヒューマンコーポレーション 深井善雄

この度、JICA セネガル事務所担当より、新シリーズ「必殺仕事人」において精鋭ぞろいのエコビレッジプロジェクトからスタート！と誇らしいお言葉を拝命いたしましたので、自慢の精鋭たちをここに紹介したいと思います。名付けて・・・「日本人以上に日本人っぽいセネガルの仕事人集団」。

ここに一例を挙げます。プロジェクトの第2年次終了間際、チームはセミナーの準備に追われていました。就業時間を過ぎても配布予定の CD コピー、パッケージの準備等で日本人団員は作業を継続していましたが、セネガル人スタッフも誰一人帰ることなく作業終了まで何も言わずに手伝ってくれました。その時、「セネガル人の中にも日本人のように人の心を理解し、行動できる人がいるんだな」と感動したことを鮮明に覚えています。私もそれなりにセネガルとの付き合いは長い方ですが、「なかなか、こんなチームには出会えないな」と自信を持って言えるチームです。

以下、我がチームの主要メンバーを紹介しましょう。

 <p>エリマスさん モリさん</p> <p><カナダプロジェクト関係者を現場に案内></p>	 <p>マローナさん</p> <p><珍しく表舞台に登場></p>	 <p>ヤスさん</p> <p><ご機嫌な時は皺無し></p>
<p>【仕切り屋】 モリさん M.Mame Mory DIAGNE</p>	<p>セネガル人同僚が引くほどの真面目な C/P！ミドルネームが「森」と同じ発音であることを知っており、本邦研修では「森」印鑑を購入した程の日本鼻根！セネガル茶にも砂糖は入れず、毎回、彼へのお土産はインスタント味噌汁という筋金入りの「なんちゃって日本人！」っぽい仕事人！</p>	
<p>【影の仕事人】 アローナさん M.Arona DIEYE</p>	<p>何より人知れず仕事を終えていることに最大の喜びを感じているので、深夜に業務メールを送ってきたり、どこで何をしているかよくわからないこともしばしば。しかし、ちゃんと仕事はこなしてくるので周囲を不思議と納得させてしまう神出鬼没な仕事人。</p>	
<p>【丁寧な対応が身上】 エリアスさん M.Elias THIAM</p>	<p>鹿児島大学で博士号を修得した逸材！危なっかしい日本語はご愛嬌としても、セネガル人にありがちな遅刻も言い訳も割り込みも我々以上に気になっちゃうだけに、現場では難しい調整もなんのその。気難しい農民たちとも「笑顔で対応！」をモットーに。現場のムードメーカー。</p>	

【いつも眉間に皺】 ヤスさん M.Hyacinthe FAYE	一見、怒ってる？という表情でいつもパソコンモニターとにらめっこ！しかし、決して怒っているわけではなく、あれが真剣モードの表情であることに最近気付きました(^O^)。いつも副総括の傍らに控え、激務をモノともしない玄人好みの苦労人。
---------------------------------------	--

◆ひといき 「セネガル洋服作り」

いつもすてきなオーダーメイドの洋服を着ている中谷所員。日本ではなかなか実現できないオーダーメイド服を作る際のコツを伝授してもらい、セネガル生活をもっともっと楽しみましょう！

所員 中谷 美文

セネガルで出会う、独創的な色や柄の布に心動かされて、洋服作りを始めました。今回の「ひといき」では洋服作りについて、私なりの3つのルールをご紹介します。皆さんの洋服作りのご参考になるのかならないのか・・・。



<ルール1: 考えてから動く！>

サンダガ市場や HLM 市場は、見渡す限りの布・布・布！何をどう選んで良いのかわからなくなります。そこで、まずは「何を作るか」、考えてから行くことが大事。ワンピースだったら大き目の柄、シャツだったら小さ目の柄、明るい印象を目指すなら暖色系、クールな印象を目指すなら直線的な柄、など選ぶときにポイントがあります。

<ルール2: 褒める！>

「お！」と思える布を見つけたら、お店の人と「これ、かわいいねー」「これは君に似合うよー！」と褒め合い値段交渉します。この「褒め合う」のが、洋服を着て楽しくなるときの大事なスパイスです。そして、少し高くても、その布との出会いは1回きりなので、買ってしましましょう。

<ルール3: 思い切る>

仕立屋さんでは、「コムサ (Comme ça!)」と言って自分で描いたデザインを見せて注文するだけです。出来上がりが少しくらい違っていても後で修正してもらえます。思い切って“ROBE”(ワンピース)とだけ伝えて作ってくれたものが良かったこともあります。



交渉すること、デザインを伝えること、出来上がるまでドキドキして待つこと、出来上がった服に感動して感謝すること、洋服をきっかけにおしゃべりが弾むこと、すべてセネガルならではの素敵な時間です。

そして、この趣味が高じて、ついに発注を受けてしまいました！初めてのお客さんは加藤所長！



◆事務所より

◆安全情報

1月7日にパリで発生した週刊誌シャルリー・エブド社へのアルカイダ系イスラム過激派による襲撃事件を発端とし、セネガルにおいても、ここ1ヶ月ほどの間でフランス等への抗議運動、デモなどが実施されています。また、「イスラム国」による日本人の誘拐・殺害事件により、日本権益や日本人が直接テロの対象になり得る、との認識と意識を高めざるを得ない情勢になっています。つきましては、イスラム教、キリスト教等の宗教権益に不要に近づかないこと、公の場で宗教に関して話題にすることで不要な誤解や反発を招かないこと、デモ等の運動に不要に近づかないこと、などについては、引き続きご留意をお願いいたします。

また、1月中旬頃から、ダカールにおいて野党 PDS を中心とした野党陣営によるデモや座り込みなどの活動が活発化しています。野党 PDS は、毎週水曜日にデモを実施するなど公表しており、引き続き警戒が必要です。当事務所や在セネガル日本国大使館からの安全情報をこまめにご確認頂けますよう、お願いいたします。

◆健康情報

呼吸器感染症が流行しています。通常以上に手洗い、うがいを心がけ、予防に努めてください。のどが痛い、咳が出る、などの症状がある人は、のどの保湿に努めるようにしてください。頻回にうがいをする事で、保湿できますし、部屋にぬれたタオル等をかけておくだけでだいぶ違います。紅茶等殺菌成分のある飲み物でのうがいも効果があります。ねぎ、にんにく、しょうが、などは身体を温め、免疫作用を高めます。積極的に摂るようにしましょう。また、我慢せず、早めの休息、及び受診、治療を心がけてください。

◆研修・調査団

- ・青年海外協力隊事務局長来訪(2/8-2/12)
- ・マクロ経済調査ミッション(2/8-16)
- ・「農村自立発展プロジェクト(PDRD)」及び「タンバクンダ州給水施設整備計画」事後評価ミッション(2/8-2/25)
- ・CFPT フォローアップ協力(2/8-3/26)
- ・JICA 研究所・世銀 SABER セミナー(2/12-19)
- ・みんなの学校群・地方分権化調査(2/16-25)
- ・CARD Mission(2/16-19)
- ・農村開発部ミッション(2/19-23)
- ・カーボベルデ本邦セミナー(2/27-3/11)
- ・JICA 柳沢理事来訪(2/22～)

◆行事

- ・大統領府次官表敬訪問(局長、隊員数名:2/9)

- ・局長、隊員意見交換会(2/9)
- ・ボランティア派遣 35 周年記念式典／平成 26 年度 3 次隊壮行会 (2/10)
- ・ボランティア活動紹介イベント(2/10)
- ・日本大使、25 年度 3 次隊意見交換会(2/12)
- ・CFPT30 周年記念式典(2/24)

◆人の動き

- ・26 年度 9 次隊 1 ヶ月短期ボランティア 2 名、26 年度 3 次隊遅延 1 名着任(2/24)

◆メール配信希望募集

セネガル発『すっかりアフリック』(月刊)の配信希望を承ります。ご希望の方はその旨「JICA セネガル事務所広報タスク宛」に下記お問合せ先メールアドレスまでお知らせください。また、配信中止ご希望の方も同様にお知らせください。

◆記事投稿歓迎

記事の投稿を広く歓迎いたします(ただし掲載可否判断、校正等を編集部にてさせて頂くことがありますのでご了承ください)。皆さまからの興味深い記事をお待ちいたしております。

『すっかりアフリック(Suxali Afrique)』はウオロフ語で『アフリカの発展』を意味します。

セネガル事務所ホームページ内でもご覧いただけます！ <http://www.jica.go.jp/senegal/office/index.html>

発行元: 独立行政法人 国際協力機構(JICA) セネガル事務所

お問合せ: sn_oso_rep@jica.go.jp

JICAセネガル事務所 URL <http://www.jica.go.jp/senegal/>
